

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

平成29年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	1	・日中利用と放課後等デイサービスを区別して部屋を利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	3	・曜日によっては不足と感ずることもある。 ・職員が休み2名になると人員不足になることがあります。(基準は満たしている) ・プログラム内容や曜日、時間帯によって足りていないと感ずる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2	1	・週1回の定例会議を開いて、振り返りを行っているが、PDCAサイクルが明確でないため工夫が必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	4	1	・昨年度実施したアンケート調査を精査し、業務改善につなげていけるようにしたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	6	・今回おこなった自己評価結果をHPIにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	3	・現在、第三者による評価は受けていないが、保護者等の意見を参考に日々の業務を振り返るようにしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・1年を通して全職員を対象に研修を実施。 ・スキルアップ研修などに参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・面談やお迎え時にお話している。 ・定期的にあセスメントツールの見直しを行い、より具体性のあるニーズの抽出ができるようにしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	2	・標準化されたアセスメントツールを共有できるよう提示して理解する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・週1回の定例会を通してプログラムの検討を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		・月によって計画を立てて1週間ずつ療育プログラムを実施している。 ・週によってプログラムを行っていて、取り入れたりして工夫している。 ・プログラム毎に立案者を決め、その案をチームで具体化している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		夏休みなど長期休暇に対応について、療育の課題・計画をミーティングで話し合っている。 ・長期休暇では外出などをして課題をしている。 ・スケジュール、プログラムを担当職員に分かりやすく提示している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・個別、全体のスケジュール提示。個別課題にも取り組んでいる。 ・手指訓練や就職に備えた取り組みなど
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		・職員間で業務にあたる前にミーティングを実施。 ・今日、どのような動きをするのか再確認している。 ・職員が全員集まる時間を決めて打ち合わせを行っている。 ・出来ている日とそうでない日がある。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりについて、振り返りをし、保護者からの伝言、要望の確認をしている。 ・振り返りをし、記録を残している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の方は、色んな業務があり、記録ができていないのが現状です。 ・その日の活動の記録をしている。 ・日誌の記入を徹底するよう申し合わせているが十分な記録ができていない。 ・月次評価を日々記録し、検証・改善に役立てている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回のモニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> ・週ごとに活動を変え、内容は個別に合わせて支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、連携は取り合っているが、いつどこで担当者会議があっているのか把握していないので、もう少し把握していきます。 ・児発管または担当者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校と情報を共有して、連携をこまめにとる。 ・学校とは時間割のやりとりをしている。 ・迎えに遅れ、子どもが家に帰った時は家庭に連絡して対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が保護者、病院と連携している。 ・担当職員も医療的知識を得るために研修会等にも積極的に参加していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供書だけではなく、担当者会議等を開催し、ニーズの整理を行い、本人と保護者が安心できる体制を整備する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の連携のための情報共有ができるよう、提供書の作成をする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・療育センターの定期支援を受けているが、定期的な振り返りができていない。 ・助言をもとに支援技術の向上をめざす。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・交流する機会を作るために、学童等との連携を図るとともに、事業所イベントへの招待等を行っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理者は全体会の委員として参加。 ・経験年数に応じて、専門部会に参加している。 ・協議会の内容のフィードバックを徹底していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、実施したことを伝え、家での生活と同じようにするために情報収集を図っています。 ・送迎の際にお伝えしている。 ・面談時に丁寧な連絡・報告・相談をしてコミュニケーションをとる。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に家族勉強会と座談会を実施しているが、より多くの保護者が参加できるよう、開催日や時間帯等の調整を行っていく。 	
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・見学时、契約時に行うようにしているが、規程が変わったときに、現場職員に周知できていないため、定期的に読み合わせをしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時等に保護者と話をする時間を設けるようにしているが、保護者のちょっとした表情の変化を読み取り、声をかける等の配慮を徹底していきたい。

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	5	・2カ月に1回のペースで座談会を実施しているが、日時の設定に工夫が必要。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3	1	・事業所ミーティングを実施。改善点等について情報共有している。 ・丁寧に傾聴し、報告書を作成する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		2	・1カ月に1回、おたよりを発行している。 ・「楽しそう」と思っていたらいいようなおたよりを作成する。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1	1	・気を付けている。 ・職員間で定期的に確認をしていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・見える、聞こえる、分かりやすい支援をする。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	3	・秋祭り等の事業所イベントに地域の方にお声かけしていく。また、ボランティアさんとの連携も図っていく。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	4	3
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・月1回の避難訓練を実施。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	4	1	・会議で確認を行っている。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4	1	・身体拘束の誓約書を提出されていない家庭があるため、全家庭に説明し、承諾を得る。 ・その場合は利用計画に盛り込む。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	2	・保護者に確認を取っている。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		・ノートに書くことにより事故につながる前に未然に防げている。
計			210	76	58	

